

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公開

## ⑫ 公開特許公報(A)

昭63-33283

⑬ Int.Cl.<sup>4</sup>

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和63年(1988)2月12日

B 65 D 85/10  
5/387405-3E  
A-6540-3E

審査請求 未請求 発明の数 1 (全5頁)

⑮ 発明の名称 たばこ用の箱

⑯ 特 願 昭62-145008

⑰ 出 願 昭62(1987)6月10日

優先権主張 ⑱ 1986年6月10日 ⑲ 欧州特許機構(E P) ⑳ 86107895.4

㉑ 発 明 者 ハイネツ・フオツケ ドイツ連邦共和国、デー-2810 フェルデン、モールシュ  
トラーセ 64㉒ 発 明 者 クルト・リートケ ドイツ連邦共和国、デー-2810 フェルデン、トリフト  
18㉓ 出 願 人 フオツケ・ウント・コ ドイツ連邦共和国、デー-2810 フェルデン、シーメンス  
ンパニー (ゲーエム  
ペーハー・ウント・コ  
ンパニー)

㉔ 代 理 人 弁理士 鈴江 武彦 外2名

## 明 細 書

## 1. 発明の名称

たばこ用の箱

## 2. 特許請求の範囲

(1) 内部材に包まれた少なくとも1グループのたばこを収納するためのスライド及びシェルを備えた箱に於いて、前記シェルの縦エッジ及び前記スライドの縦エッジが前記スライドの後壁とサイドタブとの間で傾斜され、たばこの外径に適合し、前記シェルは8角形で等角の断面を有することを特徴とするたばこ用の箱。

(2) 前記スライドの端部壁は、傾斜コーナーを有し、互いに対向して配置された上部壁及び基部壁を備え、前記縦エッジの傾斜に適合するように形成されていることを特徴とする特許請求の範囲第1項記載のたばこ用の箱。

(3) 前記スライドの上部壁及び基部壁に隣接する挿入フラップは、端部で傾斜状に形成された折曲突起を有し、この折曲突起は、前記箱が閉じられた際に、シェルの隣接する縦エッジの内面に対

して保持されることを特徴とする特許請求の範囲第1項又は第2項記載のたばこ用の箱。

(4) 前記折曲突起は、前記挿入フラップの自由端方向に三角形状にテーパ形成されていることを特徴とする特許請求の範囲第3項記載のたばこ用の箱。

(5) 前記スライドの後壁上のサイドタブは、前記シェルの側壁より狭い幅に形成され、前記サイドタブは、垂直又は長手方向に形成されたサイドタブ片によって、シェルの傾斜縦エッジの間に延出していることを特徴とする特許請求の範囲前記各項いずれか記載のたばこ用の箱。

(6) 前記シェルは、環状に巻装された部材から成り、環状タブ片は、シェル後壁の領域内で互いに重合していることを特徴とする特許請求の範囲前記各項いずれか記載のたばこ用の箱。

## 3. 発明の詳細な説明

[産業上の利用分野]

この発明は、スライド及びシェルを有する箱に係わり、特に内部部材に取囲まれた少なくとも1

グループのたばこ（シガレットブロック）を収納するためのたばこ用の箱に関する。

#### 〔従来の技術〕

スライド－シェル型の箱は、薄い箔で形成された内部部材で包まれたシガレットグループを主に収納するように機能する。スライドを取囲むシェルは、四角形（長方形）の断面及び両端に開口を有している。スライドは、後壁を有し、後壁上にはシガレットブロックが載置され、またシェルの側壁に接するサイドタブを有している。挿入フラップを有するスライドの端部壁（上部壁及び基部壁）は、後壁の長手方向に延出する。

#### 〔発明の概要及び効果〕

この発明の目的は、技術及びデザイン用語で所謂スライド－シェル型の箱を提供することにある。特に材料を節約できる箱を提供することにある。

この目的を達成するために、この発明に係わる箱は、シェルにおける垂直で細長いエッジ及びスライドにおける後壁とサイドタブとの間の細長いエッジとを有し、それらのエッジは、シガレット

の直径に対応するように傾斜され、従って、シェルは等角の8角形断面を有している。

シェル及びスライドの傾斜した細長いエッジは、箱の断面形状を確定し、その断面形状は、シガレットブロックの形状とより密接にそしてより正確に適合する。その傾斜した細長いエッジにより、またシガレットの円形状により、細長いエッジの領域に別な方法で形成されるコーナー部の空間が不要に成る。

この発明に従って、スライドは特別な形状に形成され、傾斜したコーナーを有する上部壁と基部壁とを有している。挿入フラップには、突起部が横方向に設けられている。この突起部は、箱を閉じた際に、箱の8角形の形状と適合する。

この発明に係わる箱の他の特徴は、スライドのサイドタブのデザイン又は寸法及びシェルの形状にある。

以下図面を参照しながらこの発明の実施例を説明する。

#### 〔実施例〕

この発明に係わるたばこ用の箱は、その基本構造の用語で、2つの部品、即ち外部シェル10と後方に移動可能に配設されたスライド11とから構成されている。スライド11内に配設された箱の内容物は、一般的には2個のシガレット・ブロック12及び13、即ち内部空間14内で薄い箔に包まれたシガレットグループである。

シェル10は、連続横断面の略立方体構造を有し、両端部又は頂部と基部で開口する。その結果、スライド11は、シェル10を介して移動でき、特に上下できる。スライド11が第2図に示すようにシェル10の外部に部分的に移動した際に、箱の内容物を抜取ることができる。

スライド11は、後壁15を有し、内容物（シガレットブロック12、13）は、後壁15の上には載置される。後壁15に隣接するサイドタブ16及び17をシェル10内で横に立ち上げ、シェル10の側壁18及び19に対して持たせ掛ける。端部壁、即ち頂部壁20及び基部壁21は、後壁15の両端部又は上端部と基端部から延出し

ている。これらの端部壁は、後壁15の長手方向に設けられ、立てられた箱の上端部及び基端部を形成する。挿入フラップ22及び23は、各々上部壁20及び基部壁21に付着されている。この箱が閉じられた際に、フラップ22及び23は、内容物を取囲み、閉位置を確保するようにセル前壁及び箱の内容物との間に延在する。

第3図に示すように、シェル10を形成する部材は、シェルを広げた際には細長い長方形の構造を有している。この部材は、略長方形の断面を有するチューブに巻装され、シェルの前部壁24、側壁18及び19及びシェル後部壁25が形成される。後部の領域では、シェル10の部材のチューブ重合部26が形成される。互いに重なり合う領域は、第5図に示す接着材によって互いに接合される。

シェル10は、4つの細長いエッジ27を有し、このエッジ27は、箱を立てた際に垂直方向に延出する。代表的な場合において、細長いエッジは各々シェル10の部材を2つに折曲げることによ

って傾斜が設けられる。その結果シェル10の断面は、8角形に形成される。典型的な箱の連続する直角エッジに代えて、この実施例では、2つの特有のエッジ28及び29が各細長いエッジ27の領域に形成される。特有のエッジ28及び29は、角部に互って斜めに延出する部材30の一片によって互いに接合される。もし、シェル10が細長いエッジ27の領域内で等しい角度を有しているとするば、135度の角度が各特有のエッジ28及び29に形成される。部材30の一片は、結果的に箱のコーナー部領域でシガレットの円形状に相対的に密接に適合する。

延出エッジ27は、上述のように形成されているので、シェル10の側壁18、19は、中間部において、シェルの前壁24及びシェルの後壁25に対して横方向に向けられる相対的に細い側壁片31を有している。

スライドの形状は、シェル10に対応する。シェル10の隣接する細長いエッジ27と一致して、スライドの細長いエッジ32は、傾斜エッジとし

— 7 —

な適合が得られる。

挿入フラップ22及び23は、共に同一の特別な形状に形成され、横突起38を有している。横突起38は、各々スライドの細長いエッジ32又は材料片35の領域内に延出している。代表的な突起38は、挿入フラップ22、23の端部又は自由エッジ方向に三角形形状にテーパ形成され、スライドの細長いエッジ32の内部分割エッジ33に対応する折曲げ線39によって、挿入フラップ22、23の本体部から区分されている。それによって、この箱が閉じられた際に、三角形突起38を傾斜部内に挿入し、8角形断面形状に一致させることができる。この箱、特に挿入フラップ22、23の領域における安定性は、結果として改善される。

一方、この箱の構造及び取扱は、典型的な設計のスライドーシェル型の箱と対応している。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は、8角形断面を有するスライドーシェル型の箱の閉じられた状態を示す斜視図；

— 9 —

て同様に形成される。傾斜エッジは、互いに間隔を於いて延出する2つの特有のエッジ33及び34と、このエッジ間に延出し、コーナー部に互って延在する材料片35とを有している。材料片35の隣には、垂直又は横方向に向けられたサイドタブ16、17の一部としてのサイドタブ片36が設けられている。

上述の構成の結果として、サイドタブ16、17は、シェルの側壁18、19全体より小さい構造的高さ及び幅を有している。第2図及び第5図に描かれているように、サイドタブ16、17又はそれらのサイドタブ片36は、側壁片31の領域のみに延出している。従って、スライド11のサイドタブ16、17における高さ及び幅の縮小によって材料を節約することができる。

上壁20及び底壁21は、特に傾斜コーナー37によって得られる同様の8角形状により、シェル10の8角形断面形状に適合する。傾斜コーナーの形状は、細長いエッジ27又はスライドの細長いエッジ32の形状と対応し、そのため正確

— 8 —

第2図は、開位置における第1図に係わる箱を示す斜視図；

第3図は、シェルの形成する部材の展開図；

第4図は、スライドを形成する部材の展開図；

第5図は、第1図に係わる箱のV-V平面を通る断面図である。

出願人代理人 弁理士 鈴江武彦

— 10 —

Fig. 1

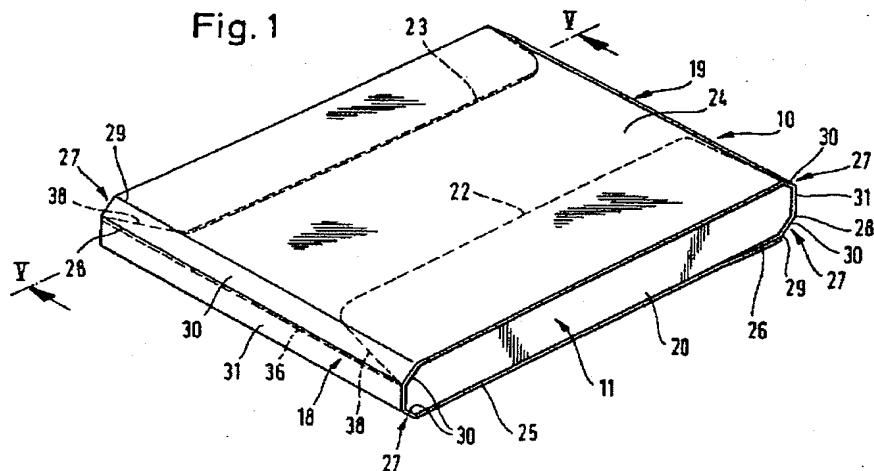


Fig. 2

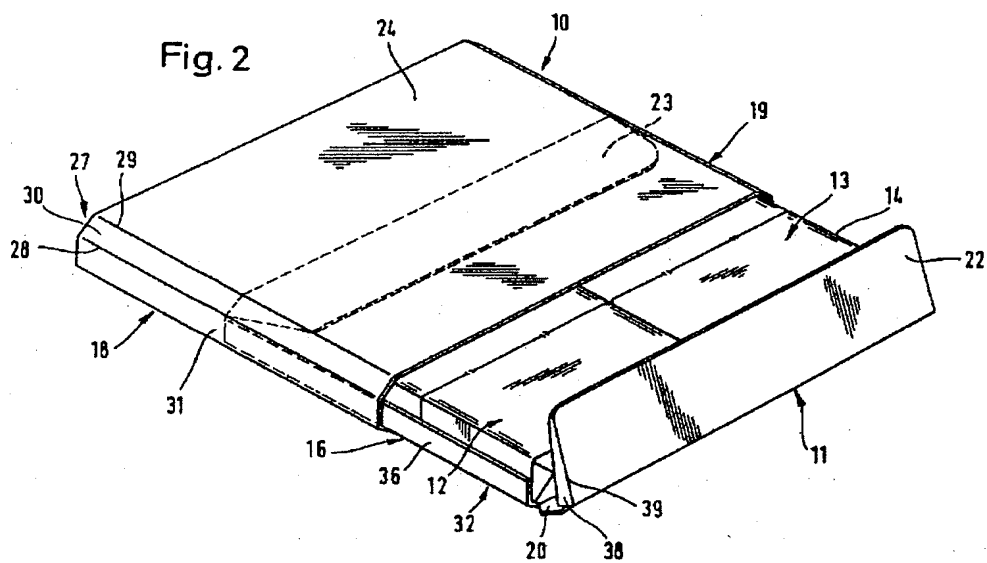


Fig. 3

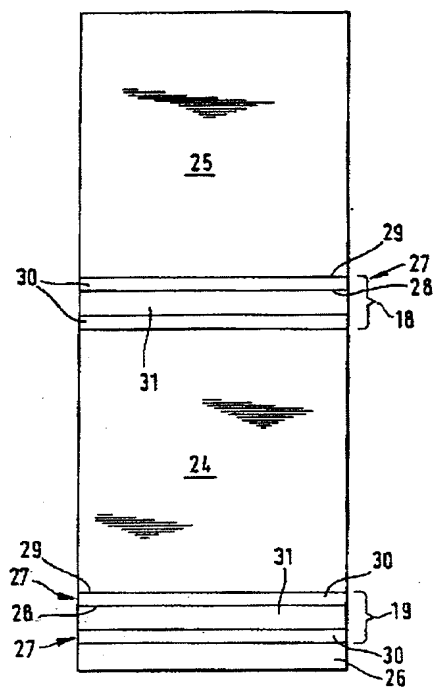


Fig. 4

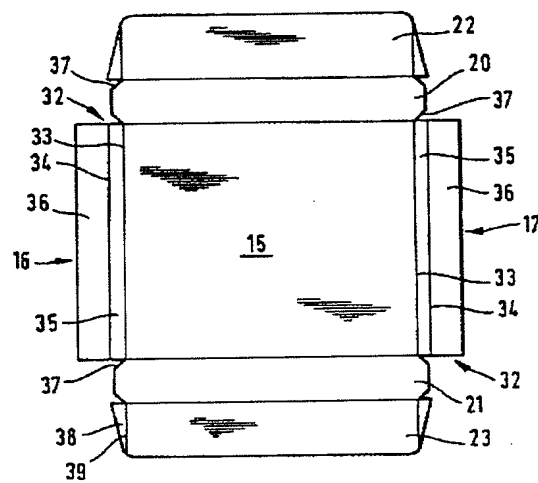


Fig. 5

